

2023年4月 (No.406)

主な内容とページ

国策ファウンドリ「ラピダス」は成功するか？	1
JASM とラピダス.....	2
プロジェクトの成功判断	4
ラピダス、何の会社？	4
米 CHIPS 法と日本.....	6
わが国は半導体法案ではなく、予備費を充当	7
激変した日本市場ランキング AMD がトップに.....	8
世界の流れに反し日本の競争力発揮を (SRL だより)	11

国策ファウンドリ「ラピダス」は成功するか？

政府による半導体再興策が本格化しつつある。一方で批判、困惑も増大、舵取りが問われている。

1. 台湾 TSMC 誘致による合弁「JASM」に続き米 IBM から技術導入して先端半導体を量産する「ラピダス」の工場建設が始まり、政府による半導体再興策が本格化しつつある。
2. JASM で 1 兆円、ラピダスで 5 兆円規模の投資が見込まれ、民間を含めた関連投資も増大、一時の活況が再現、列島に半導体ブームが戻ってきた。
3. 財源は膨大な予備費、既存法の改正による基金からの拠出。欧米の新法案制定による国家挙げての取組みと異なり、国会での審議も限られ、混乱につながっている。

世界の流れに反し日本の競争力発揮を

最近のスマートフォン(スマホ)それからEV(電気自動車)含めた先進車、高価になり使い切れない機能が満載。かつての「ガラパゴス携帯」と同じ道を歩んでいると思う。賛否は分かれるがマイナンバーカードとスマホは一体化。車は、先進技術も大事だが、安くて老人などの暴走事故を防ぐ安全車が何より必要ではないか。

スマホは、安くて使い易く安全。車は、誰でも使える身近な存在、そして事故を起こさない安全車になれば過疎化、高齢化に役立つ。デジタル化による効率向上、低コスト化、少子高齢化といった社会問題へ積極果敢に取り組み、世界の潮流とは異なっても、日本人の心で消費者、市場の要望に応じることは出来ないだろうか。

というより世界の流れが異常で、高級スマホ、先進的なEVの需要はあるだろうが、わが国は、小型車、家庭用に便利な家電などで世界の支持を得た。本当に必要なものは何か、そこで問題を解く開発を行うのが日本の競争力の復活になるのではないか。ガラケイが後で指摘を受けたように先頭組は、潮の流れを見間違う。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 4 月(毎月 1 回発行)第 34 巻 4 号(通巻 406 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

April 2023, No.406

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)